
EPS Assist Changer

AC-86取扱説明書

この度は本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
以下の説明をお読みになってから、ご利用ください。

1、同梱品

下記のものが入っていることをご確認ください。

- ①AC-86 コントローラ本体
- ②リモコン
- ③CANケーブル
- ④リモコンケーブル
- ⑤アースケーブル

2、接続方法

上記①～⑤の全てを下図のように接続します。

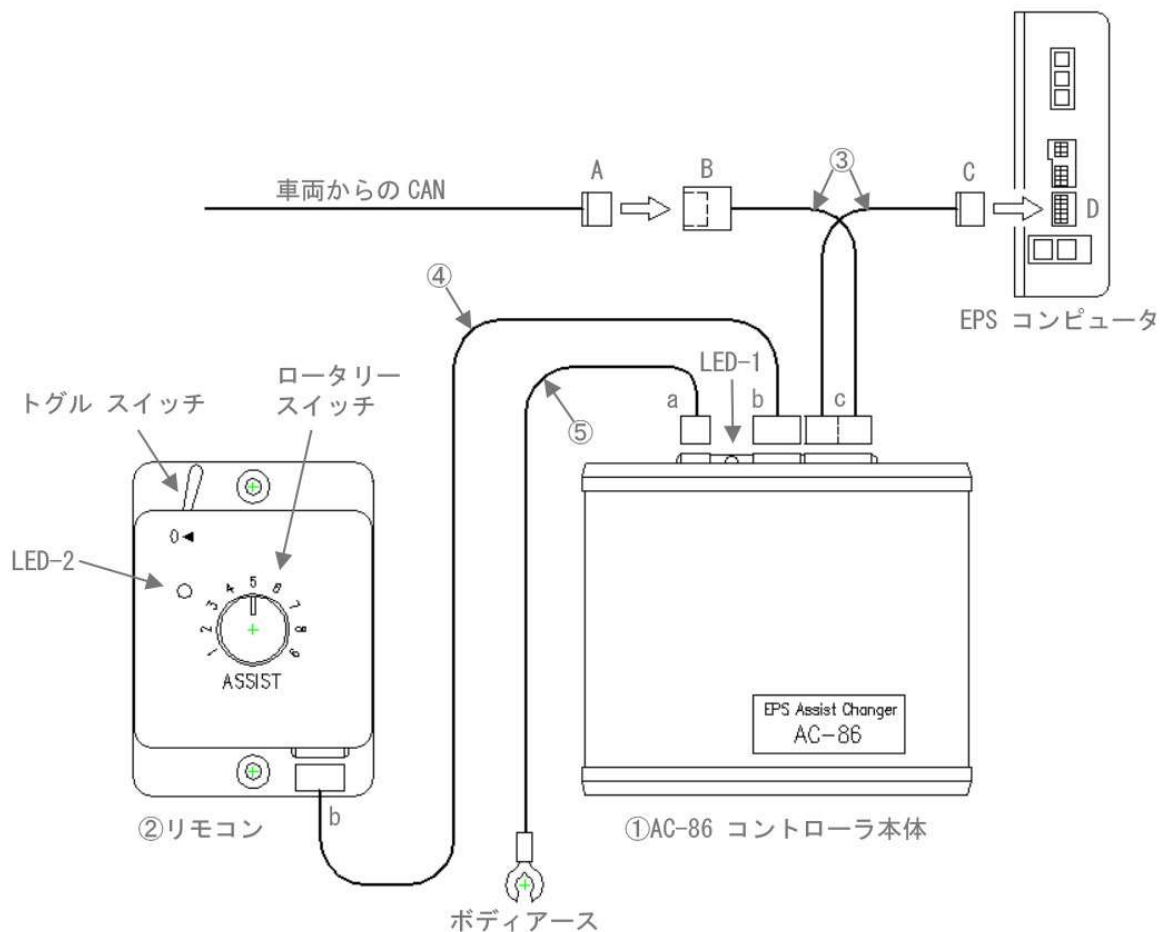
接続後は、車両の電源を入れてから、リモートコントローラのトグルスイッチを右側（◀）に倒した時に、LED-1とLED-2が緑色に点灯することを確認します。

点灯しない場合は、各コネクタ部の接続とボディーアースの接触を確認してください。

尚、各コネクタにはロック機構があります。

接続するときは押し込むだけですが、外すときは、コネクタのケーブル側となるコネクタプラグの一部を押してロックを解除しながら、ケーブルではなく、コネクタプラグを掴んで外してください。

また、カプラAとBの接続は向きに注意して、B内のピンを曲げないようにして下さい。



3、使用方法

A C - 8 6 の操作は、リモコンで行います。

(1) トグルスイッチ (モード切換)

○ドリフトモード・・・トグルスイッチを右側 (◀) に倒します。

このモードのときは、LED-1とLED-2が点灯し、
車両からのCAN速度信号はEPSコンピュータから遮断され、
EPSのアシスト力は、車速によって変化しない固定型になり、
ロータリースwitchの位置を切り換えることによりアシスト力が変化します。

○街乗りモード・・・トグルスイッチを左側 (○) に倒します。

このモードのときは、LED-1とLED-2は消灯し、
車両とEPSコンピュータとのCAN信号は全て接続されて、
従来通りの車速感应型となり、EPSのアシスト力は車速に応じて変化します。
尚、ロータリースwitchの位置には影響されません。

尚、モード切り換えは、いつでも可能です。

(2) ロータリースwitch (アシスト力切換)

トグルスイッチを右側 (◀) に倒したドリフトモードのときは、
ロータリースwitchの設定位置によって、EPSのアシスト力が変化します。
1が最小で、9が最大になります。

* ご注意

アシスト力が大きくなるほど、ハンドルは軽く動かせますが、
駆動回路に流れる電流が大きくなり、発熱も大きくなります。
そして、EPSコンピュータは一定の温度以上になると、
駆動回路が熱で壊れることを防止するため、
過熱保護モードになりアシストを停止します。
このことは特に、走行中に、この過熱保護モードに切り替わると、
ハンドルが突然重くなり危険です。

※これは、A C - 8 6 が原因ではなく、車両のEPSシステムの仕様です。

この装置は主に高速時の操舵が従来より軽くなることを目的にしております。
低速時も軽くなるようにすると、電流が多く流れる設定になりますが、
過熱保護モードを避けるため、ロータリースwitchの設定位置は、
出来るだけ数字の小さい位置で使用するようお願いします。

○お断り

本製品は、競技用であり、使用したことによる事故、怪我、機会損失など、
損害に対しては本製品の製造者は一切責任を負わないことをご承知ください。

以上

* カプラー接続時のご注意

CAN信号と+12Vとを車両とAC-86に接続するカプラーのソケットBには、挿入方向を間違えないためのキー溝がありません。間違えて無理に押し込むとソケットB内部の細い接続ピンを曲げてしまいます。そこで、プラグAとソケットBとを下図のように向かい合わせて、互いに同じ色の線材が接続されるように挿入してください。

